



けんこう 家族



Doctor's interview

脳神経外科 部長

鮫島 哲朗

SAMESHIMA TETSURO

Best Doctors® 2016-2025

乳腺外科 就任のご挨拶

緩和ケア医長 就任のご挨拶

ネコ先生『神楽坂通信』Vol.25

Web外来予約システム「やくばと」のご紹介

人間ドック「新規オプション検査」

〒102-8798
東京都千代田区富士見2-14-23
TEL 03 (5214) 7111(代)
<https://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/>

東京通信病院 脳神経外科特集

Doctor's interview

脳神経外科 医師
鮫島 哲朗
Sameshima Tetsuro

01

医師を目指されたきっかけと、脳神経外科を専門とされた理由をお聞かせください。

母親が病気がちで父親が教職員で超多忙であったため、幼少期に遠方の親戚の家に預けられて育った私は、月に一度、母親との面会に連れられて病院に行く機会がありました。当時の病院は独特の匂いがし、主治医と父親や親戚との面談の間にガラスケースの中に置かれた様々な大きさの注射器や冷たく光る細かな医療器具を1人食い入るように眺めていたことを今でも鮮明に覚えています。その頃から私は母親を含め、ここで苦しんでいる1人でも多くの患者さんを助けたいという気持ちが芽生えはじめ、自然に医学部を目指しました。当初はサッカーで鍛えた体力だけは自信があったことや救命救急に興味があったこともあり、九州大学の救急部で研修を受けました。しかしながら次第により専門性のある科にも憧れるようになり、当時の脳神経外科教授が人格者で優れた臨床医であったこともあり、脳神経外科を専門とするようになりました。

02

医師になり最も注力してきたことについてお聞かせください。

また、今後の展望についてのお考えをお聞かせください。

脳神経外科の専門医を取得し、腫瘍細胞を用いた実験で医学博士を取得しましたが、外科医となったからにはやはり手術が上手になりたい、目の前の患者さんを何とかして助けたいと考え、アメリカに留学し「神の手」と呼ばれた福島孝徳先生が在籍する Duke 大学で手術の勉強をしました。当初は単なる見学だけの予定でしたが、同大学から就労ビザが下り、主に研修医の指導を行うことになりました。その経験からイタリアはトリノ大学の客員教授となり、海外の若手医師の教育に力を注ぎ



できました。帰国後、昨年の9月までは大学病院に勤務しておりましたが、その若手医師は慣れた頃にすぐに関連病院にローテーションとして出されてしまうため、手術ができる本物の脳外科医を腰を落ち着けて育てることが困難であったことが最大の悩みでした。幸いにも今年の4月より外科医として才能のある若手と中堅の2人の医師が当院に新たに入職するため、私の持っている技術や経験を少しでも伝えることができる環境が作れます。また脳外科医志望の3人も研修医として入職してくる予定であり、現在定期的に行っている脊椎脊髄疾患および脳腫瘍手術のみならず救急全般、特に脳血管障害（脳卒中）の救急にも強い脳神経外科として生まれ変わることが大いに期待されるところです。

03

東京逋信病院脳神経外科の特徴

現在、当院の脳神経外科は、脊椎脊髄疾患と脳腫瘍の手術を中心に診療しています。脊椎脊髄疾患は張 漢秀医師、佐野史弥医師が担当し、脳腫瘍は鮫島が担当しております。両疾患とも全国から患者さんが紹介されており、脊椎脊髄は固定が不要な脊椎手術を得意とし、脳腫瘍は他院では治療困難な症例、他院で一度手術を受けたが上手くいかなかった症例や再発症例および頭蓋底手術を得意としています。これにより昨年4月より脳腫瘍・頭蓋底外科センターを設立し、手術件数が飛躍的に増加しております。これは



麻酔科、耳鼻科、眼科、内分泌科、神経内科、循環器内科、呼吸器内科・外科をはじめ、経験豊富で正確な術中モニタリングを行う神経生理検査技師（山下技師）、病棟・手術室看護師、リハビリスタッフ、薬剤師などの優れたパラメディカルの協力であることは言うまでもありません。さらに前述のようにこの春よりアクティブなスタッフが増員され、脳血管造影装置もリニューアルされます。そのため脳卒中を含めた救急にも力を入れる余裕ができることから、よりバランスのとれた診療科を目指していきたいと思います。

04

最後に、けんこう家族をご覧の方へメッセージをお願いします。

東京逋信病院脳神経外科は全国から紹介されてくる患者さんに対して高度な診療および手術を提供しています。セカンドオピニオンも随時受け付けており、他院で治療中の患者さんも遠慮無く御相談いただければと思います。

メールでの御相談も常時受け付けております。

脳神経外科 鮫島哲朗

tetsurosameshima@gmail.com



就任のご挨拶

乳腺外科
笹原 麻子

はじめに

2025年9月に外科/乳腺センターに着任いたしました、笹原麻子と申します。これまで主に東京大学医学部附属病院において乳腺外科医として乳がん診療に従事してまいりました。外科専門医、乳腺専門医・指導医に加え、遺伝性腫瘍専門医の資格も取得し、手術治療のみならず、周術期管理や遺伝医療を含めた包括的な乳がん診療に携わってきました。

このたび、2025年4月より東京通信病院の乳腺外科が常勤不在となる中、ご縁をいただき赴任することとなりました。地域の皆様に信頼される乳腺診療を提供できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

一人ひとりの生活を尊重した医療を提供

日本では乳がん罹患する女性が年々増加しており、現在では9人に1人が生涯のうちに乳がんを経験すると言われています。当院では、乳腺にしこりや違和感などの症状、検診での異常所見に対し、画像検査や病理検査を適切に組み合わせ、正確な診断を行うことを大切にしています。

乳がんと診断された場合には、治療開始までの期間をできるだけ短くし、さらに医師・看護師・薬剤師・放射線技師など多職種と連携しながら、一人ひとりの生活背景や価値観、ご希望を尊重し、安心して治療を受けていただけるよう丁寧にサポートいたします。

「2ドクター制」を重視した診療体制

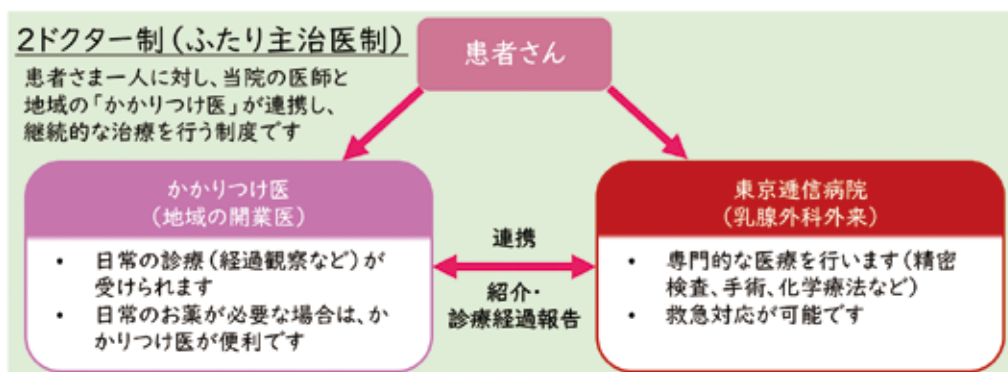
近年、外科医不足が社会的な課題となっています。当院においても、現在乳腺外科の常勤医は1名体制で診療を行っています。新規の乳がん患者さんを受け入れつつ、迅速かつ安全な医療を継続するため、当院では「2ドクター制（ふたり主治医制）」を重視しています。

乳がん診療では、術後に5年から10年に及ぶホルモン療法が必要となることも少なくありません。術後経過が良好で、内服治療の副作用が落ち着いている患者さんについては、紹介元や地域のクリニックと連携し、処方や経過観察をお願いしています。

この体制により、当院での専門的な治療と、ご自宅近くでの継続的なフォローアップの両立が可能となり、患者さんにとって「いつでも相談できる主治医が二人いる」安心感につながると考えています。

おわりに

赴任から約5か月が経過し、大学病院とは異なる、コンパクトでアットホームな当院の魅力を日々実感しています。乳がん治療は、手術・薬物療法・放射線療法などを組み合わせたチーム医療です。患者さんの不安に寄り添いながら、安心して治療を受けていただける乳腺センターを目指し、スタッフ一同力を合わせて診療にあたっております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



就任のご挨拶

緩和ケア内科 医長
杉浦 美恵子

2025年10月に、東京逋信病院緩和ケア病棟へ赴任いたしました、杉浦美恵子と申します。スタッフと共に、患者さんご家族の「その人らしさ」を支える、温かく寄り添う医療を大切にしていまいります。これまでの臨床で培ってきた経験を活かしながら、今後も学びを深めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

眺望の良い緩和ケア病棟

東京逋信病院の緩和ケア病棟は2013年3月に開設され、眺望の良い9階西病棟に18床を備えています。個室・準個室・多床室の病室ほか、ご家族がお過ごしいただける部屋やキッチン、談話室もあり、患者さんご家族が穏やかな時間を共にできる環境を整えています。

静かなフロアで、外の光や空の移り変わりを感じながら、落ち着いた時間をお過ごしいただけます。

緩和ケア病棟スタッフの思い

緩和ケア病棟では、がんに伴う痛みや息苦しさ、倦怠感などの身体症状を和らげる対応を行います。また、これからをどのように過ごしたいか、何が気がかかりかといったお気持ちを丁寧に伺い、患者さんご家族の生活や思いに寄り添いながら、その人らしい穏やかな時間を過ごしていただけるよう、日々のケアに努めています。言葉にならない不安や、遠慮の裏側にある心配ごとなど、どんな小さなことでも構いませんので、どうぞ気兼ねなくお話しいただければと思います。

医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなど、多様な専門職種が一つのチームとなり、日々情報を共有しながら、患者さんご家族にとって最適なケアを提供しています。複数の視点が重なることで、患者さんやご家族の思いに気づける場面が増え、必要な支援が見えてきます。患者さんご本人だけでなく、共に歩んでこられたご家族もまた、私たちにとって大切なケアの対象です。それぞれが抱える思いに寄り添いながら、安心して日々を過ごせるようサポートしてまいります。

東京逋信病院の緩和ケアの特徴

当院では、幅広い診療科の連携のもと、放射線科による緩和照射や、外科・内科系専門科と協働したステント挿入など、患者さんの状態に応じた治療をご提案できる体制を整えております。

緩和ケア病棟のご利用に際して

当院で治療を受けられている患者さんだけでなく、院外からのご紹介も多くいただいております。看取りの時期における症状緩和やご家族への支援はもちろん、在宅療養中での症状コントロールや、介護でお疲れのご家族の休息を目的とした短期入院にも対応しております。地域の先生方や連携医の先生方とも密に連携し、苦痛を抱える患者さんに迅速かつ丁寧に対応するとともに、入院と在宅療養が途切れなくつながるよう心掛けております。

入棟基準などの詳細につきましては、病院ホームページをご覧ください。ご質問がございましたら、どうぞお気軽にご相談いただければ幸いです。





ネコ先生の『神楽坂通信』Vol.25



皆さまこんにちは。お元気でお過ごしでしょうか。

外来で患者さんを診ていると、年齢を感じさせないほど元気な方がいらっしゃいます。年齢を重ねても元気であるためには、何が大切なのでしょう。日々の診療を通して特に重要だと感じていることは、次の3つです。それは、「歩行能力」「嚥下機能」「認知機能」を保つことです。

まず「歩行能力」についてです。歩く回数が減ると、足の筋肉は徐々に弱っていきます。健康維持のためには、「1日1万歩」と言われていた時代もありましたが、最近の研究では1日7,000歩程度でも十分とされています。無理のない範囲で、毎日歩行を続けることをお勧めします。エレベーターでなく階段を使うことも有効です。また、「1階分は歩いて上る」などの工夫も効果的です。また、スクワットも足の筋力強化に非常に有効です。1日10回程度からでも十分だと思います。また、年齢とともに膝や股関節の軟骨はすり減り、痛みの原因となることがあります（変形性関節症）。この予防・改善には、関節の周りの筋肉を鍛えることが有効です。座った状態での膝の曲げ伸ばしや、横になって脚を上げ下げする運動もお勧めです。

次に「嚥下機能」についてです。飲み込む力が弱くなるとむせやすくなり、誤って気管に入る「誤嚥」が増えます。重症化すると誤嚥性肺炎を起こし、入院につながることもあります。嚥下機能が低下すると、口から十分な食事が取れなくなり、点滴が必要になる場合があります。しかし、点滴はカロリーや栄養素の面で十分とは言えず、腸も使われなくなってしまうます。最近、腸が全身の健康に大きく関わっていることも分かってきました。嚥下機能を維持するためには、首周りの筋肉を鍛えることが有効です。人とのおしゃべり、歌を歌うこと

といった日常の行動も大切で、横になって首を持ち上げる筋力トレーニングも勧められます。さらに「嚙む力」も重要です。丁寧な歯磨き、歯周病のチェック、入れ歯を使用されている方は日ごろのお手入れを忘れないようにしてください。



人間ドックセンター
消化器内科 医師
光井 洋

最後に、「認知機能」についてです。これを確実に保つ方法は、現時点ではまだ見つかっていません。ただし、脳を使い続けることが重要だと考えられています。そのため、仕事を続ける、新しい趣味に挑戦する、地域の活動に参加する、などが勧められます。また、脳血管障害は認知機能低下の大きな原因です。そのため、血圧・血糖・脂質異常症のコントロールが非常に重要になります。認知機能の低下を自覚したり、ご家族から指摘されて不安を感じたりした場合は、内科や神経内科を受診してください。早い段階であれば、進行を遅らせる治療が可能なこともあります。

さて、これまで長い間、このコラムをお読みいただき、ありがとうございました。実は私は、この3月で定年を迎えました。そのため、次の執筆者が決まり次第、バトンタッチする予定です。皆さまと医療や健康について一緒に考える時間を持てたことは、私にとって大きな喜びでした。どうかこれからもお元気でお過ごしください。心よりお祈りしています。ネコ先生からのごあいさつでした。



web 予約が できるようになりました



【予約方法】

下記の QR コードから「やくばと」のサイトにアクセスしてください。



初診予約



再診予約

当院では、待ち時間短縮のため外来診療の予約制を導入しています。

これまで電話での予約をお願いしていましたが、当院でも web 予約ができるようになりました。

電話が繋がらない、営業時間内に電話できないなどご不便をおかけした皆さま、ぜひ web 予約をご利用ください。

なお、web 予約は予約時点では確定ではありません。その後当院職員から確定のご連絡（メール）をさせていただきますのでご了承ください。

【web予約の注意点】

- 紹介状をお持ちか、再診の方が対象です。
- サイトアクセスから3診療日以降の予約が取れます。
- 予約時にメールアドレスが必要です。アドレスのない方はお電話でご予約ください。
- 初診予約は、医療機関が作成した紹介状（診療情報提供書）が必要です。
- 紹介状をお持ちの方の予約申し込みには「写真撮影が可能なスマートフォンやタブレット」が必要です。
- 同日に複数診療科の予約を取る必要がある場合は、お電話でご予約ください。
- 歯科全般・リハビリテーション科・救急診療科・緩和ケア科・病理診断科は web 予約できません。
- セカンドオピニオンご希望の方は、web でのご予約はできません。

【予約変更・キャンセル】

予約当日にご来院できない場合は、予約日時前日（土日祝、年末年始を除く）の 17 時までにお電話にて予約センターへご連絡をお願いいたします。キャンセルの場合は、前日の締切後でも必ずご連絡ください。

人間ドックのおすすめ

人間ドックセンター

1年に1回は健康チェック（電話03-5214-7055）



男性 基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	
腎・泌尿系	炎症・その他	
代謝系		

料金 45,100円
追加でオプション検査もごございます。



女性 基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	婦人科(子宮頸がん検診)
腎・泌尿系	炎症・その他	外科系(乳房撮影+触診)
代謝系		

料金 52,360円
追加でオプション検査もごございます。

「がんリスク検査 マイシグナル」新規オプション開始

本検査は、尿に含まれるマイクロRNAを解析して、一度に男女計10がん種のリスクを判定します。腫瘍マーカーより感度の高い検査のためがんリスクの早期発見に適しています。人間ドックを受診せずに単独でも検査は可能です。

<対象がん部位>

- ・男女共通…食道、胃、大腸、すい臓、肺、腎臓、膀胱
- ・男性のみ…前立腺
- ・女性のみ…乳房、卵巣

<料金>

- ・69,300円（税込）

<注意点>

- ・本検査は、医療行為として、がんに罹患しているかどうかの「診断」に代わるものではなく、また、確定的な診断を行うものではありません。
- ・詳しくは、当院HPを参照し、Craifサポートセンターへお問い合わせください。



交通のご案内



ご利用案内

診療科

内科、内分泌・代謝内科、血液内科、神経内科、感染症内科、循環器内科、腎臓内科、消化器内科、呼吸器内科、リウマチ・膠原病内科、精神科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、婦人科、小児科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科 計32科

外来診療日

- 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）

予約の方法・予約受付の時間帯

- 電話での予約…9:00～17:00
（土・日・祝日及び年末年始を除く）
- 電話番号……03-5214-7381

時間外（急患）診療

- 連絡先……03-5214-7768（救急診療室）

診療受付時間

窓 口	予約のある方	午前 8:30～11:00 午後12:30～16:00
	予約のない方	午前 8:30～11:00 午後12:30～14:30
自 動 受付機	予約のある方のみ	8:00～16:00

人間ドックセンター

- 連絡先……03-5214-7055、7167
オプションで脳ドック、肺がんドックも行っております。

注意事項

- **処方箋**は、使用期間[発行日を含めて4日（土曜・日曜・休日を含む）]を過ぎると無効になりますのでご注意ください。
- マイナ保険証をご持参ください。入院、外来、薬局で必要になる他、外出時の急病・受傷時にも有用です。



理 念

私たちは、患者さんに満足いただける心のこもった良質な医療を提供し、社会に貢献します。